

相馬
ゆうこの

南千住レポート



まちづくり・
くらしの情報
を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627
FAX:3806-9246/メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp

物価高騰対策 区議会本会議で独自支援を提案

朝晩の冷え込みが強まってきました。電気・ガス代、物価の値上がりで日々の買い物にもみなさん大変です。いよいよ年末・年始を控え、年越しや新年の準備など出費も心配されます。



「妊娠・出産時に10万円」 区は区議会11月会議に、補正予算の増額を提出。国が「少子化対策」として10月末に提案した「妊娠・出産時に計10万円給付」に関する予算が増額計上されました。今年4月以降に妊娠又は出産をした方を対象に、約1,900人への給付を見込んでいます。（詳細は分かり次第お知らせします）



低所得世帯に「おこめクーポン」? 東京都は18日、「低所得世帯に『おこめクーポン』を配布」すると発表。1世帯あたり1万円分のお米が野菜などを選び、対象は都内約170万世帯。はがきか専用サイトで申し込み、自宅配送を想定。ただし、12月都議会で議決されても、クーポン発送は年明け、各世帯へお米が届くのは3月頃の様です。共産党都議団が水道料金値下げなど緊急策を提案、都でも区でもくらしの支援策をすすめた。

共産党都議団の提案

160超えの自治体が減免決定
上下水道料金の減免

都内でも荒川区などが減免。すすででも段階的に実施する。も国分がすすで実施する。

荒川区でも支援拡充を 24日の本会議で、国・都の対策とさらに「区の独自支援策を」と求めました。「子ども給付金1万円の対象を高校生まで拡大」「低所得世帯へ暖房費の支援」「区内事業者への支援金」「年末年始の生活相談窓口」の実施など提案。また、インフルエンザ予防接種助成を子ども・基礎疾患の方まで拡充、介護サービス充実に「紙おむつ支給、緊急通報システム、配食サービス」など対象・額の拡充、保育士の加配、痴漢など性犯罪対策についても質問しました。区の答弁は改めてお知らせします。

これまでの給付・支援など

国	非課税世帯へ5万円給付
	電気・ガス事業者へ助成することで、家庭の電気・ガス代の値上がり分を補助
	妊娠・出産時に計10万円給付
東京都	低所得世帯へお米1万円分
荒川区	児童手当を受給している子ども1人あたり1万円
	障がい者などのタクシー助成を拡充
	プレミアム付きお買い物券を拡充
	キャッシュレス決済でポイント還元



物価高騰でくらしが大変な中、75歳以上の医療費窓口負担の2倍化、児童手当の特例給付縮小など、社会保障の削減がつづいています。賃上げと消費税減税など国の根本的な経済対策と、区の独自支援も必要。みなさんのご意見お寄せください。

保育継続を…区立幼稚園の「クラス編成をもとめる陳情」

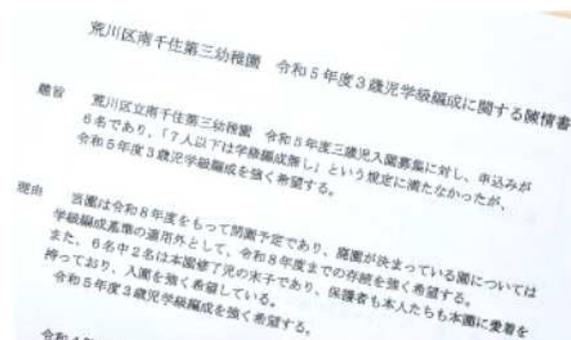


荒川区は今年6月に突然、区立幼稚園8園のうち4園（南千住第三・町屋・尾久・東日暮里）とこども園（短・中時間）について「2024年度で受入れ終了、2026年度末をもって閉園」を提案。一方で

「3歳児の新入園児が7人以下の場合は、学級編制を行わない」としています。

今月行われた新入園申し込みでは、廃園とされた園すべてが7人以下になり、南千住第三幼稚園と東日暮里幼稚園の保護者などから「クラス編成を求める」陳情が出されました。

陳情では「兄弟が在園しており、きょうだいと同じ園に通園させたい。子どもも保護者も園に愛着があり、廃園予定でも受け入れしてほしい」という強い思いが訴えられています。陳情者の声を真摯に検討したい。



削減より給食、延長保育の実施を

区の計画案では、4園廃園の一方で、存続する園で「給食」「延長保育」の実施を予定。区立園削減ありきではなく、保護者の願いである「これまで培ってきた区立園の保育継続」と「給食」「延長保育」などの要望をいま実施すれば、申し込みも増えるはず。災害時にも備え、区外園頼みではなく、公・私立園の受け入れ条件を整備して、地域で安全に育つ幼児教育・保育環境をつくりたい。

天王公園のケヤキが

「天王公園の木が1本伐採されていた…どうしたの？」

天王公園北側のケヤキが1本伐採され切り株に。病気になるてしまい倒木の危険があったため、11月3日に伐採したそうです。根が枯れてからでないと撤去できないため、しばらくは切り株に。さみしいですね。



〈法律・生活相談〉

12月の定例法律相談日は 8日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

来年度の区立小中学校・希望校申し込み状況

来年度の区立小中学校の希望校申し込み状況は、表のようになっています。荒川区の学校選択制では、小学校は「隣接する通学区域の学校も選択可能」（隣接区域選択制）、中学校は「区内自由に選択可能」（自由選択制）です（汐入小と第三中は学区外受入れなし）。



前回は、小学校6校（峡田、四峡、尾久、一日、二日、ひぐらし）と尾久八幡中の計7校で抽せんを実施しました。

南千住地域では、瑞光小と南千住第二中で受け入れ可能数を超過。

区内の小学6校・中学5校で超過ですが、私立進学もあり、超過でも抽せんしない場合も。

【中学校】 ★第三中は学区外の受け入れなし

	受け入れ可能数	申し込み者数	
		合計	(学区内) (学区外)
第一	133	132	111 21
第三	—	223	223 —
第四	99	152	73 79
第五	99	123	98 25
第七	99	73	60 13
第九	99	64	54 10
尾久八幡	133	214	121 93
南千住第二	166	197	151 46
原	133	110	97 13
諏訪台	166	277	248 29

【小学校】 ★汐入小は学区外の受け入れなし

	受け入れ可能数	申し込み者数	
		合計	(学区内) (学区外)
瑞光	99	104	76 28
二瑞	66	42	24 18
三瑞	133	118	114 4
汐入	—	121	121 —
汐入東	99	70	67 3
六瑞	33	26	18 8

徒歩で通える範囲を基本に



学校選択制は、23区中17区で導入、そのうち6区が中学校のみ。

小学校で導入の11区のうち8区が「隣接区域選択制」、「自由選択制」の区も、災害時や安全確保のため「原則徒歩30分以内」と徒歩で通える範囲を基本としています。

23区の導入状況は…

小・中に導入 …11区
中学校のみ …6区
導入なし …6区

教育条件整備が大切

希望しても諏訪台中のように学区内でほぼいっぱい学校もあり、制度が問われます。地域のお祭りやPTA活動への影響もあります。学校間競争より、一人ひとりの基礎学力を伸ばす、義務教育の条件整備、長時間・過密労働の教職員の負担軽減もすすめてほしい。

	小学校	中学校
自由選択制	2区 江東、江戸川	15区
隣接区域選択制	8区 品川、豊島、板橋、墨田、足立、荒川、港、目黒(休止中)	2区 目黒、豊島
特認校・特定地域選択制	1区 中央	なし
なし	12区	6区 世田谷、北、杉並、中野、葛飾、大田

都営住宅(家族向け)の地元割当の募集があります

対象は右の4か所です。

申込書配布 11月30日(水)まで、
区役所 | 階総合案内・区民事務所・
ふれあい館等

申込み締切 用紙に記入し郵送、
12月2日(金)荒川郵便局必着

抽選日 12月16日(金) 決定後、申込者全員に結果をお知らせします。

3人以上	南千住四丁目(南千住4-9)	1戸
	西尾久八丁目第二(西尾久8-9ほか)	1戸
2人以上	町屋六丁目第二(町屋6-37)	2戸
	町屋八丁目(町屋8-17)	1戸

★申し込みのお手伝いもします
ご相談下さい



区民の声で、区民のくらし、営業を良くするための議会を



荒川区議会には、「常任委員会」と「特別委員会」が各4つあります。常任委員会は「総務企画」「福祉・区民」「文教・子育て支援」「建設環境」の4つで、各委員会ごとに担当事務の調査、付託された議案や請願・陳情の審査などを行います。

福祉・区民委員会未開催!? その時々で調査や議案審査の数は異なりますが、今回の11月会議では福祉・区民委員会に付託される「区長議案がない」として、委員会が開かれないことになりました。



共産党区議団の先輩議員は「議会開会中の常任委員会が未開催は初めて」とのこと。

本会議でも委員会でも真剣な議論を 区長議案がなくても、事務事業の調査・報告や陳情審査の委員会開会は可能です。とりわけ、介護保険や医療負担増など社会保障改悪の動きがでており、区民生活の実態調査をもとに区民のいのち・健康、営業を守る委員会での調査・真剣な議論が求められているのではないのでしょうか。

委員会名	内容
総務企画	財政、広報、行政運営、産業、就労、観光など
福祉・区民	高齢者、障がい者、介護、健康、税務、生活安全など
文教・子育て支援	保育、教育、子ども関連、子育て支援、スポーツ、図書館、生涯学習など
建設環境	まちづくり、公園、土木、環境、清掃、リサイクルなど

上野動物園のパンダ今年で50年

上野動物園にジャイアントパンダのオスの「カンカン」とメスの「ランラン」が来たのは、1972（昭和47）年10月28日、今年でちょうど50年に。

これまでに上野動物園が飼育したパンダは15頭。1986年には動物園での繁殖が成功、「トントン」が日本生まれの初のパンダとして公開。現在は5頭（リーリー、シンシン、シャンシャン、シャオシャオ、レイレイ）ですが、「シャンシャン」は年末までに中国に返還されることになっています。



カンカン(HPより)

50年前に飼育に関わった獣医師さんは、「パンダも絶滅が危惧されていると知って、野生動物を保護する大切さも学んで」と呼びかけています。パンダ舎は平日で20～40分待ち、休日はもっと混みそう。獣医師さんの言葉も胸に、パンダに会いに行ってみては。

これまでに飼育されたパンダ…カンカン、ランラン、ホアンホアン、フェイフェイ、トントン、ユウユウ、シュアンシュアン、リンリンなど



ランラン(同)

ご意見・ご質問頂きました ○「肺炎球菌ワクチンの助成もお願いしたい」と複数の方からご要望いただきました。インフルエンザ予防接種は、今年は高齢者だけが無料ですが、来年はどうなるのでしょうか。コロナも収まらず心配です。肺炎球菌ワクチンは、高齢者は接種後5年経過で再接種のようで、専門家のいろいろな見解もあるようですが、これも大切。助成の検討を求めています。○「大人は飲食店でマスクせず談笑、子どもに黙食を強いるのは心が痛みます」旅行クーポンが人気の一方で修学旅行が中止となるなど疑問の声も。子どもの経験も大切にしたい。

